

No.24-12 2024年10月1日

発行:目黒地区労働組合協議会/教宣部

【HP】<http://meguro-rokyo.jp/>

メール:union@r05.itscom.net



加盟組合の定期大会一運動の前進を

秋には多くの加盟組合も、定期大会を迎えています。目黒労協では、可能な限りこの大会に参加させていただき、激励と情報交換を行っています。そんな加盟労組の定期大会を、可能な範囲で紹介していきます。

仲間を増やして定期大会開催

目黒自交労組・第46回定期大会

9月22日(日)に、目黒労協に加盟する自交総連・目黒自動車交通労働組合の、第46回定期大会が八雲住区センターで行われました。組合員数は前年より5名が増え33名となり、毎年、仲間を増やしています。委員長のあいさつでは、「今春闘の賃金要求はゼロ回答だった、来春闘はストライキをかまえた交渉も必要。『通勤交通費の支給』などともに要求実現のため、さらに組合員を増やそう！新乗務員に声をかけよう！」と訴えていました。目黒労協よりも来賓参加、事務局次長が「宣伝行動や集会の際に声をかけて下さい、いつでも支援します」と激励しました。

(目黒労協/事務局次長)



大東通信機労組・第46回定期大会

役員の新若返りでさらに団結強化を！



2024年9月13日、会社食堂にて第46回に定期大会を実施し、新体制となりました。昨年よりもメンバーは減ってしまいましたが、執行部の主要メンバーでは若返りもあったので、この「若い力」を活かして、今後の活動を頑張っていきたいと思えます。

今期の活動方針としては、昨年度以上に組合員同士の交流の場を増やし、組合の団結をより強いものと考えています。また、地域の労働組合様とも交流を深め、情報交換を強めながら、これまで以上の取組内容を展開していくことを確認しました。(大東通信機労働組合/執行委員長)

今年は“一味”違った 「2024団結ビアパーティー」に

9月7日(土) 目黒労協が団結ビアパーティーを開催、土建目黒会館にて

コロナでの中断・縮小を経て、フルバージョンの「団結ビアパーティー」開催となりました。今回は「飲んで交流」形式から、「ゲーム・合唱で交流を深める」企画を追及しました。ゲームは「ピンポン対決」、「かぶって叩いてじゃんけんぽん」そして「輪投げ」でした。参加者は 23 人プラス南部合唱団 のみなさん。

(＊以下、労協/事務局)

労協議長あいさつはそこそこに「乾杯！」

「来賓」などのご挨拶は省略、一気に乾杯へと進み、飲食もスタート。デリバリーはサンドイッチ、唐揚げ、ハム・ウィンナー、ポテト・ウモロコシなどなど。なかなか好評で、最後は完食に。



そして景品争奪のゲーム大会に突入！

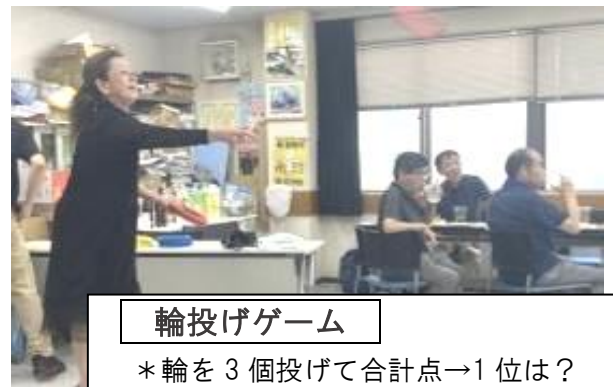
ピンポン大会

＊百均のピンポンセットなので、独特のバウンド。サーブ勝負か、戦略も難しい。→



かぶって叩いてジャンケンぽん

＊なかなか勝負がつかない！



輪投げゲーム

＊輪を 3 個投げて合計点→1 位は？



南部合唱団と歌声

＊リクエストは「沖縄を返せ！」そして南部合唱団とともに「ガンバロー」合唱で締めました。



＊「景品」のご提供ありがとうございました。ゲーム大会の優勝者や上位入賞者に、“豪華”景品を用意しましたが、この景品は各労組や、労金五反田支店殿にご提供いただいたものです。この場をお借りして御礼申し上げます。

9.19東京地評争議支援総行動

労使間では決着がつかず、労働委員会や裁判に争いが持ち込まれ、広く支援を集めて闘う争議。各本社前集会などを1日に集中して、お互いに支援しあって行く「総行動」。今回の東京地評主催の総行動では11か所で取り組まれました。目黒労協よりも、ユニオン・JMITU 地域支部など、多数の参加がありました。

天王洲/JAL 本社前

朝一番は天王洲アイル、JAL 前。司会は解雇撤回闘争のJHU 組合員、挨拶は東京地評、新たに結成された「JHU 争議支援東京連絡会」など。東京都労働委員会・地裁などで闘いが続いています。

六本木/キンドリルジャパン本社

争議総行動の第二弾は、六本木ヒルズのキンドリルジャパン本社前に80人以上結集。最賃ぎりぎりの「定年後再雇用賃金」の大幅改善を闘っています。



箱崎/IBMビル

IBM 箱崎前。本社は虎ノ門に移転で、旧本社ビルはほぼ半分のオフィスとのことだが、相変わらずキッチンカー多数、JMITU 目黒地域支部も集会参加。昼休みの労働者に、労働組合への相談・加入を訴えました。

京橋/明治乳業本社前

許せない！40年の人権・賃金差別。都労委では、過去の事件に遡って審議が始まっています。



霞が関/民事法務協会労組

法務省前、全国一般・民事法務協会労組（民法労）の集会です。2006年からの市場化テストによる登記所照会業務の委託が、この4年間でも落札価格は10億円近く低下。労働者の無権利・低賃金が続いています。

(*以上、目黒労協/事務局によるレポート)



9月19日 争議総行動の後は日比谷野外音楽堂で連続集会！

今こそ変えよう再審法—カウントダウン袴田判決—集会

9月19日(木)夕方、日本弁護士連合会（日弁連）主催の、「今こそ変えよう再審法—カウントダウン袴田判決—」集会。9月26日に予定される袴田事件再審判決に合わせ、再審法の抜本的改正を求め、主催者発表 2500人が参加。久しぶりに満員の日比谷野音を見ました。（めぐろユニオン/通信員）



戦争法廃止、裏金政治を終わらせよう、日比谷集会

9月19日(木)、「戦争法廃止、裏金政治を終わらせよう、日比谷集会」。集団的安全保障法成立から10年の9月19日の集会です。会場は、前段と変わり幟旗が乱立。立憲民主党、日本共産党、社民党、沖縄社会大衆党—沖縄の風などの国会議員が発言。4人が挨拶。ゲストスピーチは有田芳生さんでした。（めぐろユニオン/通信員）

再審法改正を求め、陳情と署名活動を 国民救援会目黒支部などが、地域に運動を提案

9月13日(金)に鷹番住区センターで、国民救援会目黒支部などが「再審法改正促進の意見書を国会・政府に提出することを求める」陳情に取り組もうと、「再審法改正を求める目黒の会」結成総会&学習会を開催し、26名の参加がありました。学習会は「袴田事件」弁護団の弁護士が話をされ、再審が決まったのにもかかわらず、再審裁判の開始が10年もかかった事実などにふれ、法律の整備が一日も早く必要であると力説されました。救援会の団体会員である目黒労協も、同会の取組みに賛同し、署名活動などの協力を行っていきます。（労協執行委員/救援会担当）



地域共闘を拡げ 目黒労協を大きくしよう！
活動方針の討議・決定

目黒労協 第73回定期大会

- ◆11月16日(土) 土建目黒会館/午後 1時開会
- ◆代議員の確保をお願いします、大会の成功を！